

雑誌のスクラップ作業

(Linux Java CAD&CG DB Cマガジン)



2005-09-09

田村 直樹

[1] 目次を切り抜きます。

- 目次を切り抜き、必要な情報が何ページに載っているのかをすぐ調べられる位置に置きます。

[2] 項目ごとに切り抜きます。

- 目次には特集記事・連載記事（第〇回・最終回）のページが書いてありますので、項目ごとにまとめて切り抜いておきます。項目の最後のページが次の項目の表紙と重なってしまった時は、表紙をコピーして代用します。

- 雑誌を綺麗にはがすために、上から順にはがしていきます。

□注意：項目を切り抜く時に、接着剤まで一緒に切り抜いてしまうと、ファイルにしまう時に厚みが出てしまい、少ない量しか閉じられなくなってしまう。それに気づいて、後から接着剤をはがそうとしても、きれいにはがせず、とても時間がかかります。

- 切り取りながら、必要でないページと必要なページを分けて置き、必要なページは、特集記事と連載記事などファイルが違うもの同士で分けて置くと、ファイルにしまうための作業時間が短縮されます。

[3] 必要なページか必要でないページで分けます。

- 必要なページ

□共通

●特集記事

（一回限りの記事、特別企画も一回限りの記事なので含まれます。）

●連載記事

（来月号や先月号からなど連続でつながり、第〇回や最終回と項目に書いてある記事）

□Java：『Beginners』 『Technology & Programming』 『Enterprise』
『Methodology & Design』 『XML』

□DB：『columns』 『Product Focus』

□Linux：『Q & A これってFAQですか？』 『column』

C MAGAZINE : 必要でないページに書いている項目以外ほぼ全部

CAD & CG : 雑誌によって項目名が変わるので、内容を見て確認してください。
ほぼ作業の仕方は、他の雑誌と一緒に。

上記の項目以外にも必要なページがありますので、内容を確認して、
作業を行ってください。

● **必要でないページ**

共通

● ニュース・資格・レポート・製品紹介・実力診断テスト・広告

Java : 『selection』 『Update』 『News & Products』 『Book』 『Readers`
Voice』
『Free Soft & Products』 『Present』 『Javaなんでも質問箱』

DB : 『インタビュー』 『Report & News』 『DB コミュニティー』

Linux : 『Hardware』 『Free Software』 『実力診断テスト』 『Business
& News』 『misc』

C MAGAZINE : 『READERS`ROOM』 『EDITOR` Room』

CAD & CG : 『News Reports』 『CD-ROM ガイド』 『Pick Up』

上記の項目以外にも必要でないページがある場合があるので、一通り目を通して
ください。

● **注意**

雑誌の項目は、途中で追加されたり、古い項目が消えたりするので、
内容の確認をよく行ってください。

● **その他**

残りの項目は実際に内容を確認して、必要か必要でないか判断してください。
もしわからない時は、聞きに行きます。CD-ROMがついている場合は、聞いて
確認してください。

□冊子も必要か必要でないか聞いて確認してください。

[4]項目ごとにファイルに閉じます。

●特集記事専用のファイルと連載記事専用のファイルを作ります。以前に作ったファイル

に空きが残っているときは、その続きから始めてください。

●連載記事は、連載が続けて読めるように、重ねて閉じてください。

●ファイルに閉じる順番は、古い記事が下になるようにファイルを閉じます。

●連載記事でない記事は特集記事ファイルにまとめて閉じてください。

●ファイルがない雑誌もあるのでない場合は、新しくファイルを作ってください。

[5]ファイルの目次を作り、日付を表紙に書き、インデックスをつけます。

●ファイルを開きやすくするために、インデックスに番号を書きます。特集記事の場合は

表紙にインデックスを貼り付けます。連載記事の場合は、連載ごとに分ける表紙の前に

裏紙をはさんでおき、そこにインデックスを貼り付けます。

●ファイルの項目を見やすくするために、ワープロなどでファイルごとの目次を作ります。

目次は、一番上に雑誌名を書き、次にファイル番号 No. ○を書き、次にインデックスの番号 項目名 ○年□月号 という形式で目次を作っていきます。

(番号の書き方は、最後にファイルされた番号の続きから番号を書いていきます。インデックスに書いてある最後の番号が9 2なら次は9 3から続けて書いていく。)

(Java マガジンの特集の場合は、番号の書き方は一つ目のファイルの場合、1□ □□で、二つ目のファイルの場合は2-○○で数字は1のファイルから2のファイルまでつながるように書きます。例 1-40 で一番目のファイルがいっぱいになったら2番目のファイルに2-41から始まるように書きます。)

●ファイルにはさめなくなった時は、新しくファイルを作り、目次も作ります。連載記事は項目が続くように閉じます。

連載記事がファイルとファイルをまたぐ時は、またがないようにそろえて閉じてください。

(例：1月□6月までひとつの連載が続いていた場合は、1月□6月までの記事をならべて、ファイルに閉じます。)

- 特集記事の表紙の右上に○年□月と記入していきます。連載記事の右上に○年□月と記入します。